

大好きだった人に愛想がつきる  
とき（私の昔の恋）

karinomaki

## 好きでたまらなかった人

---

私には、好きでたまらなかった人がいました。今は、その人への心からの軽蔑の念しかありません。どうしてこんなに気持ちが冷めてしまったのか、分析してみようと思います。

## モーツァルト

---

モーツァルトは、ある意味、天使と悪魔の両面を持っていたと思われます。だから天才なのです。私が以前好きだったその人をBさんとして、この文章ではBさんについて書きます。Bさんはモーツァルトに似ていました。しかし、全くモーツァルトの器がない、ただの小心者だったとわかったとき、私の気持ちは完全に冷めました。

## Bさんとモーツァルト

---

まず、Bさんは、とても面白く、しかし、影のある人でした。私はBさんの向こうに、大好きなモーツァルトを見ていたのです。

酔っ払うと面白く、しかし、仕事ができる人でした。しかし、家の中では、Bさんは、奥さんにとって、ただのお金を稼ぐだけの役立たずとして扱われていました。

そのヤケなのかなんなのか。私はBさんのうさ晴らしに利用されました。

モーツァルトの場合は、もっと悪魔的です。奥さんのコンスタンツェを全く愛さず、しかし、歴史にはいい夫として残るように、いやいや熱烈な心優しい恋文を残しました。

私は、モーツァルトのような悪魔的な人には、ぐいぐい魅かれますが、Bさんのような、中途半端な悪魔には魅かれないのだとわかってしまいました。

Bさんは、奥さんをいじめるために、私に近づき、仲のいいところをさんざん見せつけた卑怯者でした。

## モーツァルトのすごさ

---

Bさんはただの卑怯者です。だから私の気持ちは冷めきってしまいました。しかし、モーツァルトは本当にすごい男なのです。

自分が地獄に落ちることを覚悟しきって、その悪さで、天上の音楽を仰いだのです。

Bさんの卑怯なところは、その小心の器を、私を愛することで、カバーしようとしたことです。

奥さんをいじめるために、別の女性に近づく？笑わせないでください。

## 仕事がいやだ

---

Bさんは、地位が高い人でした。しかし、自分の仕事を愛していませんでした。自分の仕事も、選んだ奥さんも愛せず、私を退屈しのぎに利用し、奥さんに心のつながりがばれたとたん、私を追いやりました。

私はBさんの手口に引かかっていた。だからいっぱい泣きました。手もつないだことがない、ただ心がつながっていただけなのに、どうして遠くの地に追いやられなければならないのかと。

しかし、モーツァルトのことを考えてみました。徹底的に悪く、そして覚悟を持ち、ひたすら悪さを純化するべく作曲に燃焼させていた、激強のモーツァルト。

仕事がきらいで、奥さんとも向き合えず、私に逃げて、都合がわるくなったらポイですか・・・私はモーツァルトのすごさを学ぶとともに、Bさんが大っ嫌いになってしまいました。

## 強さを模索する

---

これだけ人をけなす文章を書きましたが、私自身の強さを鍛えるためです。お許し下さい。しかし、私は、だめな生き方、だめなことはだめと言える作家になりたいのです。ひどい恋愛をしてズタズタになって、私が得たものは、批判するという姿勢でした。批判することによって、自分のだめな部分も戒めることができるのです。最後に、卑怯な生き方をしない参考に、私の文章を使って下さい。なぜなら、Bさんのような卑怯者には永遠はないからです。モーツァルトが永遠なのは、自分の悪さ、ひどさを知り、神を恐れながら作曲して天上に手を伸ばし続けたからです。

Bさんのような卑怯な人は、何物にも自分の苦しみを燃焼させない。ただ周りの機嫌をとったり、都合が悪くなると逃げて、なんにも残らない。

Bさんに裏切られて泣き暮らした日々は、私にこの文章を書かせました。私は文章に燃焼させて、卑怯と戦います。